

# 競技注意事項

## 1. 規則について

本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2. 競技場使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者、競技役員、主催者が許可した報道関係者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- 2) 相模原ギオンスタジアムでは競技以外での芝生への立ち入りを厳禁とする。なお、相模原ギオンフィールドで男女ハンマー投が行われる時間帯は一部区間での練習を制限することがある。競技役員の指示に必ず従い練習すること。
- 3) ダッグアウト、コンコースでの練習は、事故防止のため厳禁とする。
- 4) コンコース、北・南サイドスタンドの芝生部分は待機場所におけるテントの設営を厳禁とする。
- 5) 相模原ギオンフィールドにおける場所の独占、テントやブルーシートの設置は厳禁とする。
- 6) 荷物は各大学が責任を持って管理すること。また、貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者が責任を負うことはない。
- 7) 競技場内におけるテープ等での貼り付けは一切禁止する。
- 8) 競技場内の全ての電源は、主催者の許可なく使用してはならない。
- 9) 練習については、練習場注意事項を参照すること。
- 10) グラウンドおよび練習場では、競技場保護のため水以外の飲料の持ち込みは厳禁とする。
- 11) トレーナー活動は、各大学の選手待機場所にて行うこと。

## 3. 競技者の招集について

- 1) 招集所は競技場Aゲート（諸室図参照）に設置する。
- 2) 競技者の競技エリアへの入場は競技役員の指示による。
- 3) 各種目の招集開始・完了時刻は競技日程に記載の通りとし、招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。
- 4) 招集所の入口では、腰ナンバー標識（2枚）および荷物運搬袋を受け取ること。
- 5) 点呼の際には、アスリートビブス、ユニフォーム、腰ナンバー標識（2枚）、スパイクピン、商標のチェックを行う。
- 6) 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が「重複出場者届」（TIC（招集所）または大会インフォメーションに用意）を、**招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに**、TIC（招集所）に提出すること。
- 7) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 8) リレー種目は、オーダー変更の有無にかかわらず、ラウンド毎に「リレーオーダー用紙」（TIC（招集所）に用意）を、**当該種目第1組の招集完了時刻1時間前までに** TIC（招集所）に提出すること。
- 9) 招集完了時刻に遅れたり、「重複出場者届」および「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに提出されなかったりした場合、当該種目を欠場したものとして処理するので注意すること。
- 10) 棒高跳の招集は競技開始の1時間前に競技実施場所にて行う。また、棒高跳の練習は競技実施場所で、競技開始時刻1時間30分前から行うことができる。
- 11) 混成種目の招集時刻については「9. 競技について 4) 混成競技について①」を参照すること。

#### 4. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは 1 名につき 2 枚配付する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目出場者は胸、または背だけでもよい。
- 2) すべてのアスリートビブスは折り曲げてはならない。
- 3) トラック種目出場者は、競技者係（招集所）が配付する腰ナンバー標識を両腰の上部、やや後ろにつけること。なお、5000m、10000mW においては、周回の確認のため、トランスポンダー付きの腰ナンバー標識を使用する。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識は左腰につけ、通常の腰ナンバー標識を右腰につけること。
- 4) 3000m、5000m、10000mW、4×400mR、4×800mR、十種競技、七種競技出場者には、レース用特別アスリートビブスを配付する。**大学受付にて配布する ID とアスリートビブスに同封するので確認すること。**なお、4×400mR の決勝に出場する大学は、招集完了時刻 1 時間前までにレース用特別アスリートビブスを TIC（招集所）まで取りに来ること。また、その際には確認のため事前に配付したアスリートビブスを必ず持参すること。
- 5) アスリートビブスの地色、数字の色は次の通りとする。

種 目	配 色
● 男子	黄色地×黒数字
● 女子	ピンク地×黒数字
● 3000m・5000m・4×400mR・4×800mR	白地×黒数字
● 10000mW	白地×黒数字（男子） 白地×赤数字（女子）
● 十種競技・七種競技	白地×黒数字

#### 5. 欠場について

エントリー後、病気または事故等により、やむなく欠場する場合、9 月 16 日（金）14 時までは、本連盟 HP に掲載をしている欠場届を印刷し、必要事項を記入、押印したものを指定アドレス（entry@kgrr.org）に送信すること。9 月 16 日（金）14 時以降に欠場を申し出る場合は、欠場届に必要事項を記入、押印し TIC（招集所）に提出すること。なお、欠場届はアスリートビブス等の事前配布物に 5 枚同封しているが、不足の場合は指定の用紙を TIC（招集所）、または大会インフォメーションに取りに来ること。やむを得ず大会当日に TIC（招集所）へ提出できない場合は、指定アドレス（entry@kgrr.org）に送信すること。

#### 6. 競技の抽選・番組編成について

- 1) トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載の通りとする。
- 2) 予選以降の組み合わせ、およびレーン順は主催者が公正に抽選する。
- 3) 本大会は対校戦ではないため、番組編成における同所属は配慮しない。
- 4) リレー種目は、A 決勝進出チーム以外の記録上位 8 チームによる B 決勝を実施する。

#### 7. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（棒高跳用ポール・投てき物を除く）は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。なお、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、主催者では炭酸マグネシウムを準備しない。
- 2) 棒高跳の練習に関しては主催者が用意するゴム製バーを使用すること。
- 3) 投てき物に関して、持ち込みを希望する場合は、当該種目の競技開始時刻 1 時間 30 分前から 1 時間前までに器具庫 A（諸室図参照）にて、公式計測員の検査を受けること。検査に合格した用器具については「預り証」を発行の上、主催者で一括して借り上げ、参加競技者間で共有できるものとする。また、破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者が責任を負うことはない。なお、競技終了後「預り証」を確認の上、大会インフォメーションにて返却する。

## 8. 競技について

### 1) トラック競技

- ① 計時はすべて電気計時（0.01 秒）を用いて行う。
- ② 200m までの競技は、気象条件によっては、バックストレートで実施する場合がある。  
なお、競技開始時刻の 2 時間前を目安に決定する。
- ③ 男女 10000mW において、男子は 58 分 00 秒、女子は 63 分 00 秒で残り 1 周に達していない者は失格とし、競技を中止させる場合がある。
- ④ 5000m 以上の種目では、バックストレートに給水所を設置し、水を用意する。
- ⑤ リレー種目で同大学が 2 チームエントリーする際のユニフォームは、誤判定防止の観点からチーム毎に異なる色を着用すること。
- ⑥ リレー種目で同大学から 2 チーム出場する場合、チーム間の選手交代は認めない。

### 2) 跳躍競技

- ① 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目		1	2	3	4	5	6	7	以降
走高跳	男子	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	2m11	2m14	+3cm
	女子	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	
棒高跳	男子	4m50	4m70	4m90	5m00	5m10	5m15	5m20	+5cm
	女子	2m70	2m90	3m10	3m30	3m40	3m50	3m60	

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

- ② 走幅跳、三段跳は 2 ピットで行う。なお、トップ 8 確定後の 4 回目以降の試技についても各自のピットで行う。
- ③ 三段跳の踏切板の位置は、砂場に近いほうの端から男子 12m、女子 10m とする。
- ④ 練習跳躍を除き、踏み切り位置を当該競技者に示さないこととする。

### 3) 投てき競技

やり投は風向きに関わらず B ゾーンで行う。

### 4) 混成競技について

- ① 招集は 1 日目、2 日目の最初の競技種目でのみ招集所で行う。招集時刻は競技開始時刻の 30 分前に開始し、20 分前に完了とする。ただし、七種競技 2 日目の走幅跳は競技開始時刻の 60 分前に開始し、50 分前に完了とする。なお、以後の招集は行わない。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。
- ② 混成競技者控室は、諸室図参照のこと。
- ③ 混成競技者控室への付添、コーチ等の出入りは認めない。
- ④ 跳躍種目は 1 ピットで行う。競技者は、走高跳は 1 日目、棒高跳は 2 日目のそれぞれ最初の種目が終了した時点で、希望する高さを混成競技係に申請すること。なお、バーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
十種競技	走高跳	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	+3cm
	棒高跳	2m70	2m90	3m10	3m30	3m50	3m70	3m90	4m00	4m10	+10cm
七種競技	走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	+3cm

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

1) 助力について

- ① 当該競技に関係するしないにかかわらず、競技役員がある競技者に対して他競技者よりも有益となるような助言またはその他の支援を提供することは、当該競技者への助力とみなす。
- ② 周回種目において、周回遅れか、周回遅れになりそうな選手に競技者がペースメーカーとして競技をした場合、または先行する競技者が周回遅れの競技者のペースメーカーとして競技をした場合、両者を失格として扱う。
- ③ フィールド種目に出場している選手に対して競技エリア外（スタンド）にいる者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技エリア外（スタンド）から見せることに限定され、録画した機材（ビデオ装置・携帯電話等）を競技エリアにいる競技者が手に持った場合は助力とみなす。

6) コーチングエリアについて

監督・コーチエリアをメインスタンド・バックスタンド・サイド芝スタンドに設ける。

9. 表彰について

- 1) 各種目 3 位までに入賞した者（B 決勝が行われた場合は A 決勝の 3 位まで）は、競技終了後に表彰を行うので、表彰対象者控場所（諸室図参照）に集合・待機し、式典表彰係の指示に従うこと。
- 2) 表彰を受ける際は、上は各校の公式ユニフォーム、下は公式ジャージを着用すること。また、アスリートビブスも着用すること。
- 3) 代理表彰は一切認めず、不在の場合、空席として表彰を行う。
- 4) すべての競技終了後、本大会最優秀選手を男女各 1 名選出し、表彰する。

10. 結果発表・抗議について

- 1) 競技結果の正式発表は、大型スクリーンにより行う。場内アナウンスでも発表は行うが、抗議については大型スクリーンへの掲示時刻が基準となるので注意すること。
- 2) 競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから 30 分以内（同一日に次のラウンドがある場合は 15 分以内）に、その後、担当総務員（大会本部に常駐）を通じて、口頭で審判長になされなければならない。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なす。

11. 衣類の管理について

- 1) トラック種目出場者の荷物運搬用としてビニール袋を主催者で用意する。氏名、大学名、ナンバーを事前に記入すること。
- 2) スタート前に脱衣した衣類等の荷物は競技役員が指示した場所に置くこと。これらの荷物は、ただちにフィニッシュ付近に運ばれるので、各自で受け取り退場すること。

12. 応援について

- 1) メインスタンドでの大学を明示するもの（部旗、横断幕、幟等）の使用・掲出は厳禁とする。
- 2) 横断幕は、各校 1 枚に限り掲出を許可する。その際は、必ず紐を使用し、テープ等の使用は禁止する。手持ちの幟等についてもメインスタンド以外では掲出を許可する。
- 3) 集団応援は厳禁とする。また、個人においてもメガホン・鳴り物等による応援並びに声を出しての応援は禁止する。選手への指示はボード等を活用して行うこと。

13. 入場規制について

- 1) 今大会は、全てのエリアで ID カードがない者の立ち入りは禁止する。特に以下の区域に立ち入る者は、指定の ID カードを所持していなければならない。競技者は必ず ID カードをつけること。アスリートビブスでの規制エリア内への入場は認めない。

規制エリア	入場可能 ID (いずれか1つで可)
スタンド・コーチングエリア 相模原ギオンフィールド	競技役員・選手・チームスタッフ・審判講習生
グラウンド・招集所 ミックスゾーン・雨天走路	競技役員・選手・審判講習生
各諸室	競技役員・審判講習生

- 2) 競技場入場の際は、必ず記名した ID カードを提示すること。配付された ID には大学名と使用する個人名を記入し、本人以外の使いまわしは厳禁とする。使いまわしが判明した大学は、それ以降の出場を認めない。

14. その他

- 1) 競技運営上、競技日程を多少変更する場合がある。
- 2) 競技終了後は、種目・ラウンドに関わらず、必ずミックスゾーンを通ること。
- 3) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。

関東学生陸上競技連盟